

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年3月10日（木）

2 確認箇所

1号機原子炉建屋西側及び1・2号機開閉所

3 確認項目

1・2号機非常用ガス処理系配管一部撤去の対応状況

4 確認結果の概要

1・2号機非常用ガス処理系配管（以下「SGTS配管」という。）については、今後予定されている1・2号機建屋の雨水対策工事及び1号機の使用済燃料取り出し用大型カバーの設置工事に支障を及ぼすことから、支障を及ぼす範囲の撤去が計画されている。（写真1）

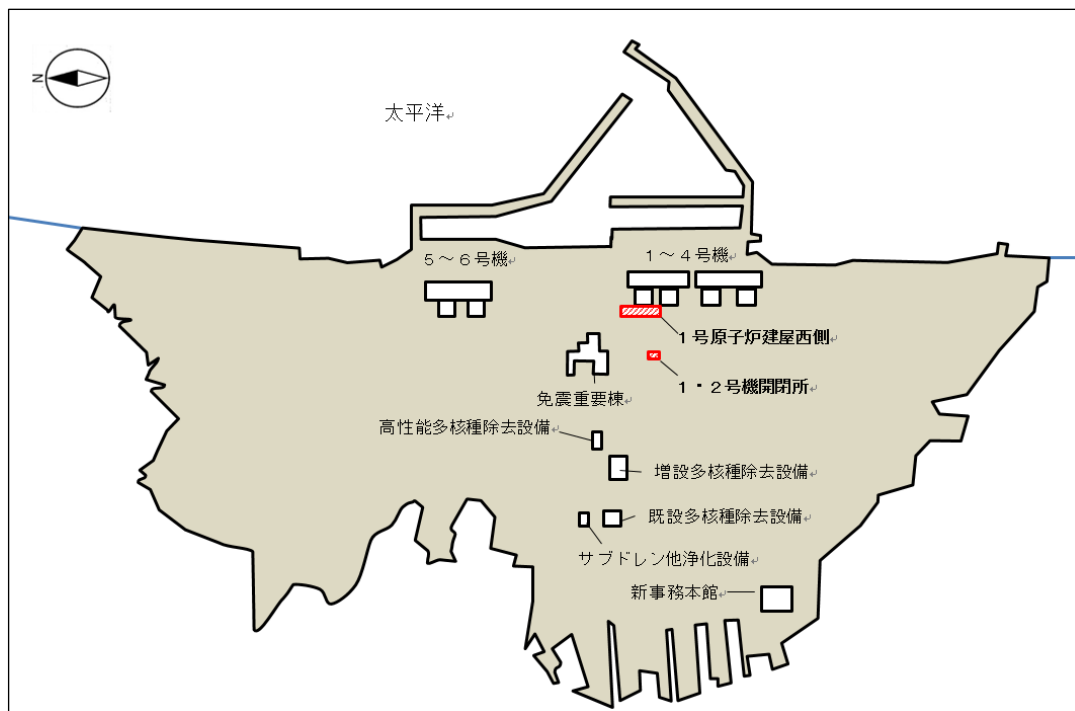
3月1日、配管切断装置（ワイヤーソー）を用いてSGTS配管の切断作業に着手したところ、切断用ワイヤーが外れ、翌2日には同ワイヤーが切れる不具合が発生した。東京電力では模擬配管を使用して推定原因^{*}の検証を行っていることから状況を確認した。（前回確認：[令和4年3月2日](#)）（図1）

- ・1号機原子炉建屋西側の配管切断エリアでは、模擬配管の切断作業に先立ち、吊り天秤に設置された配管切断装置など機器の調整等が行われていた。（写真2）
- ・その後、模擬配管の切断作業が開始され、1・2号機開閉所東側の遠隔操作室では作業員がパソコン端末の画面を確認しながら、機器の遠隔操作を行っていた。（写真3）
- ・東京電力では、上記により原因の検証を行い、所要の対策を講じた上でSGTS配管の切断作業を再開するとしている。

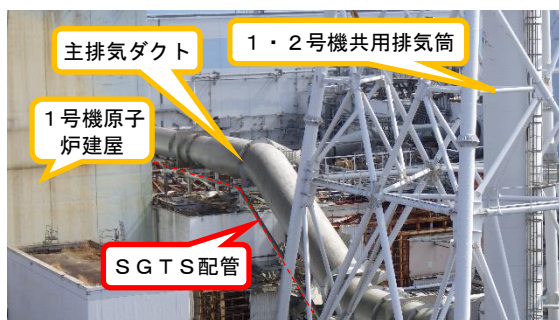
※ 東京電力では3月4日、5日に上記事象の再現確認・原因調査を実施したところ、以下の原因が推定され、対策を講じた上で模擬配管を使用して検証を行っている。

（推定原因）

- ・切断用ワイヤーに熱を持たせた状態での張り調整を行っていなかったことから、切断の熱によりたわみが生じて外れた可能性。
- ・配管切断装置の作動油温度がメーカー推奨値（40℃）に達しないまま稼働させたことにより切断能力が発揮されず、切断用ワイヤーに負荷がかかり切れた可能性。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



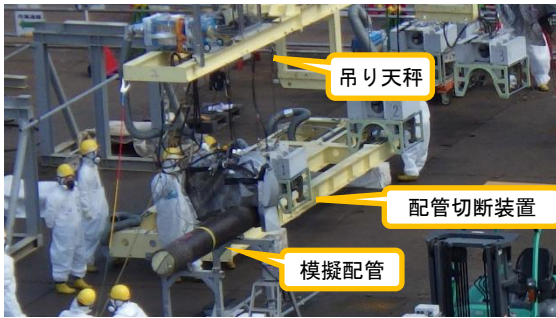
(写真1)
SGTS配管の状況
(破線がSGTS配管)



(写真2-1)
1号機原子炉建屋西側の配管切断エリアの状況
(吊り天秤の両端に配管切断装置が設置されている。)



(写真 2 - 2)
配管切断装置の調整の状況



(写真 3 - 1)
模擬配管の切断状況



(写真 3 - 2)
遠隔操作の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。